



報道関係各位

大和ハウス工業株式会社  
代表取締役社長 大野直竹  
大阪市北区梅田 3-3-5

**「CSRレポート2016」・「環境報告書2016」発行  
「サステナブル・ビジョン」・「中期CSR計画」を策定**



「CSRレポート2016」(PDF)



「環境報告書2016」(PDF)

大和ハウス工業株式会社(本社:大阪市、社長:大野直竹)は、2016年7月22日、「CSRレポート2016」および「環境報告書2016」を発行しました。

当社では毎年、持続的な成長と中長期的な企業価値向上のため、大和ハウスグループのCSRに関する情報を「CSRレポート」としてまとめ、発行しています。今回の「CSRレポート2016」では、投資家や有識者等を主たる報告対象として定め、サステナブル経営の実現に向けた考え方やESG<sup>※1</sup>の取り組みについて報告しています。

また、情報開示の質・量の向上を図るべく、「GRIガイドライン第4版」<sup>※2</sup>を参考に、当社グループが重要と考える課題(マテリアリティ)や経営方針などについて詳しく掲載しています。

さらに、今年度からは、サステナブル・ビジョン「世界の暮らしをよりよくする。社会と共に、人と共に、限りない挑戦へ」を新たに策定しました。創業100周年(2055年)を見据えた環境・社会性に関する長期ビジョンや中期CSR計画を記載するとともに、第5次中期経営計画に合わせた3ヵ年の目標を設定しています。

あわせて、当社グループの環境への取り組みを抜粋し、詳細データ等を加えて再編集した「環境報告書2016」を発行しました。7月末には、「CSRレポート英語版」も発行予定です。

なお、いずれのレポートも昨年度に引き続き、PDF形式にてWeb上で公開します。

※1.環境: Environment、社会: Social、ガバナンス: Governanceの略語のこと。

※2. UNEP(国連環境計画)公認の非営利団体「GRI(グローバル・レポートニング・イニシアチブ)」が作るCSRレポートのグローバルな報告ガイドラインのこと。

**●ポイント**

1. 非財務情報であるESG情報を「投資家等が求める視点」から編集
2. 社内外のステークホルダーや有識者との対話を通じて策定した長期ビジョンと中期CSR計画

## 1. 非財務情報であるESG情報を「投資家等が求める視点」から編集

「CSR レポート 2016」では、投資家等が当社グループの ESG 情報を深く理解できるよう、ステークホルダーと環境、ガバナンスに分けて、ビジョン・戦略（ステークホルダーとの関係において大切にする事）と、方針・考え方・マネジメント（制度や体制）について報告しています。

対象	ビジョン・戦略	方針・考え方・マネジメント	
ステークホルダー	“はぐくむ”精神を大切にしながら長く愛される商品を提供し続けていきます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・品質へのこだわり</li> <li>・お客さま満足の向上</li> <li>・長期保証とアフターサービス</li> <li>・持続可能な消費</li> </ul>	
お客さま			
従業員			<ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の安定と公正な評価</li> <li>・健康および労働安全</li> <li>・ダイバーシティの推進</li> <li>・多様な働き方への配慮</li> <li>・人財育成</li> </ul>
取引先			<ul style="list-style-type: none"> <li>・相互研鑽により質の高い建物を造り続け、共存共栄を実現します</li> </ul>
地域社会			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域共生活動</li> <li>・コミュニティ形成の支援</li> <li>・事業を通じた社会貢献</li> </ul>
株主	株主の皆さまに価値を創出するとともに、社会にとっての価値も創出します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株主還元と IR 活動</li> </ul>	
環境	環境課題の解決とステークホルダーとの価値共創により、持続可能な社会を目指します	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化防止</li> <li>・自然環境との調和</li> <li>・資源保護</li> <li>・化学物質による汚染の防止</li> <li>・環境マネジメント、サプライチェーンマネジメント</li> <li>・環境コミュニケーション</li> </ul>	
ガバナンス	コーポレート・ガバナンスは「人」であり、多様な視点、長期的な視点に基づいた経営を行っていきます	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーポレート・ガバナンス</li> <li>・リスクマネジメント・コンプライアンス</li> <li>・公正な競争と取引</li> <li>・人権マネジメント</li> <li>・知的財産の管理</li> <li>・CSR マネジメント</li> </ul>	

## 2. 社内外のステークホルダーや有識者との対話を通じて策定した長期ビジョンと中期CSR計画

当社グループは、サステナブル・ビジョンの実現に向け、ステークホルダーや有識者との対話を通じて、当社の社会性・環境性・ガバナンス（CSR 経営の基盤）の長期ビジョンおよび中期 CSR 計画を策定しました。

社会面では、ステークホルダーとの関係を強化し、事業を通じて社会に貢献するための考え方をまとめた社会性長期ビジョンや、ステークホルダーとの関わりにおける 12 の課題（お客さまからの長期にわたる信頼獲得や、多様な従業員が柔軟に働ける職場づくりなど）に対応する社会性中期計画を掲げました。

環境面では、創業 100 周年（2055 年）を見据え、4 つの重点テーマ（地球温暖化防止・自然環境との調和・資源保護・化学物質による汚染の防止）に関して環境負荷ゼロに挑戦する環境長期ビジョン「Challenge ZERO 2055」を策定しました。また、その実現に向け、環境と企業収益の両立を目指す環境行動計画「エンドレス グリーン プログラム 2018」を策定しました。

●サステナブル・ビジョンについて



【閲覧方法について】

今年度も資源保護の観点から冊子として配布せず、Web サイトへアクセス・ダウンロードして閲覧いただく方法を採用しました。

■CSR レポート 2016

[http://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/performance\\_data/csr\\_report/](http://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/performance_data/csr_report/)

■環境報告書 2016

[http://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/performance\\_data/eco\\_report/](http://www.daiwahouse.com/sustainable/csr/performance_data/eco_report/)

■環境長期ビジョン“Challenge ZERO 2055”

<http://www.daiwahouse.com/sustainable/eco/vision/>


■環境行動計画「エンドレス グリーン プログラム 2018」

<http://www.daiwahouse.com/sustainable/eco/program/>

■レポートに対するアンケート

[http://www.daiwahouse.co.jp/csr/regist\\_ga.asp](http://www.daiwahouse.co.jp/csr/regist_ga.asp)

【 未来を、つなごう We Build ECO 】



私たちは、“未来を見据えた自主的な環境行動によって、常に社会をリードし、現在と未来をつないでいきたい”との思いのもと、すべての企業活動を通じて、地球温暖化防止や資源循環などの環境活動に取り組んでまいります。

【関連情報】 [> 大和ハウスの環境への取り組み](#)

以 上

お問い合わせ先		
広報企画室	広報グループ	06-6342-1381
	東京広報グループ	03-5214-2112